



議会だより

しせん

第79号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 ㈱奄美新社印刷

「新たな議事堂、新たな歴史」
この新議事堂において伊仙町議会の新たな歴史が始まります

議案審議結果・子ども議会	2～3P
一般質問	4～7P
現地調査	8～9P
閉場式	10P
県外視察研修	11P
議長の動静	12P

認3	令和4年度伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
認4	令和4年度伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
認5	令和4年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
認6	令和4年度伊仙町上水道事業会計歳入歳出決算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
請1	東犬田布集落公民館の整備並びに建替えに関する請願	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
請2	修学支援金等条例制定に関する請願	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択

【表の見方】承：承認 議：議案 陳：陳情 発：発議 請：請願 ◎：全会一致 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：表決権なし
 ※前徹志議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

伊仙町子ども議会が開催されました!!

子ども議会は、次世代を担う子どもたちが、町民の一員としての自覚を持ち、まちづくりについて考え、意見を発表する体験を通して、町で生きていく自分の未来についての考えを深め自己実現を図ろうとする態度を養うことを目的として町教育委員会主催で2年に1回、開催しております。

各小中学校の代表者による質問があり、伊仙町の将来を考えたまちづくりの提案など活発な意見がでました。



令和5年8月29日に開催された子ども議会の様子

令和5年 第3回定例会

一般質問



久保 量 議員

農業振興について

問

肥料・飼料の価格が高止まりするなかで、8月の子牛セリ価格がさらに暴落し、畜産農家の経営は益々不安定になっているが、町として対策を講じる計画はないのか問う。

答

(経済課長)

畜産農家においては、飼料の価格も高止まりしており、さらに、6月・7月・8月と競り価格が落ち込んでいることから、非常に厳しい経営状況になっ

ていると認識している。ま

ず、国の対策として、令和5年度限りではあるが、7月期より生産者臨時経営支援事業の拡充が図られるという情報を得ている。また、町としても、昨年度に引き続き、コロナ交付金を活用して経営維持支援交付金3,786万円を予算化し、営農の継続と経営の安定を図っていきたくと考えている。

問

交付金の給付対象及び支払い時期はどのような計画になっているか問う。

答

(経済課長)

給付対象については、早期の給付手続きに入りたいと考えており、令和4年度の競り出荷実績及び自家保留を含めた頭数を対象とする予定。頭数にし

て、3、155頭を予定している。支払い時期については、この中から令和5年度において廃業された農家等を調べた上で、9月末から10月にかけて支払いをしていきたいと考えている。

戦艦大和慰霊塔修復プロジェクトについて

問

当該事業に関し、現状と目標達成に向けた今後の取組について問う。

答

(きゅらまち観光課長)

新聞社やテレビなどのメディアを積極的に活用し、プロジェクトの周知に努め、今後も各メディアに取り上げていただくよう働きかけていく。また、メディア以外の周知としては、関東や関西、鹿児島などの郷友会で本プロジェクトの支援や協力をお願いしている。その他には、戦艦大和の関係団体、自衛隊関係機関、自衛隊OB会などにも協力依頼をして広く広報活動に努めている。

問

クラウドファンディング以外に一般寄付とあるが、このことについてどのような取り組みなのかを問う。

答

(きゅらまち観光課長)

伊仙町と関わりのある事業者や町民に案内させていただいている。今回のクラウドファンディングは、ふるさと納税制度を活用している関係上、企業や町民の方がクラウドファンディングに参加できないため、当該事業への一般寄付という形で受け入れさせて

いただいている。新聞やテレビを見て寄付をしたいというお問い合わせについては、きゅらまち観光課で対応、受付を行っている。

要聞

今現在の世界情勢、特にロシア、中国、北朝鮮等を考えたとき、世界シンボルとしても大事な慰霊塔であると考えているので、先輩たちが残してくれたメッセージを引き継ぐためにも、このプロジェクトを成功させてほしいと強く願う。



慰霊塔



永田 誠 議員

教育全般について

問 公務支援システム導入の成果を問う。

(教育長)

答 今まで紙媒体で作成していた指導要録や健康診断表、通知表、出席簿等、これを電子化することで、データで作成・保存が可能となる。また、事務処理が効率的になり、ペーパーレス化にもつながり、業務の改善、負担軽減につながっている。

問 業務の効率化によって生み出された時間を、子どもたちと向き合う時間に充てることができると思うが、この点について問う。

(教委総務課長)

答 いくつかの学校に、この公務支援システムを活用して、どのような効果が表れているかということ、直接質問をしたところ、作業効率が上がって、業務の改善につながったということ、空いた時間を子どもたちと接する時間や他の業務にも充てることができ、今後もこのシステムを有効に活用していきたいという回答があった。

要望 町も多額の予算をかけたので、教職員の業務負担軽減を図ることは大事なことであるが、空いた時間を活用して子どもたちの学力向上に向けても取り組んでいただきたい。

問 タブレットを活用した学習の状況について、学校間での取り組み状況に格差が生じてないか問う。また、タブレットを活用した学習が進められているが、具体的にどのような成果がでているのか問う。

(教委総務課長)

答 校長研修会や、各種研修会等を通じて、学校にはタブレットの活用に関して積極的な活用ということで指導を行っている状況である。



(教育長)

タブレットを使用した学習での利点としては、動画や音声を利用した学習が手軽にできるようになり、今までの受け身の授業に比べて、自分たちのタブレットの中に音声を録音したり、また動画を自分から探して見るといことで、積極的に学習に参加すると思う楽しさが出てきたと思

う。また、今回購入した、navima(ナビマ)という学習支援ソフトについては、その子に合った学習ができる等、工夫されており、自分から勉強することにつながるような学習ソフトになっている。現在、教育委員会では、navima(ナビマ)を使って自分から勉強するような子どもに育てるために、タブレットを持ち帰りにした学習を進めている。

幼稚園給食について

問 幼稚園給食については、無償化及び有償化について、以前検討するとの答弁であったが、進捗について問う。

(給食センター所長)

答 11月から3月については、幼稚園児は1食155円徴収することで保護者の方からも了承を得ている。令和6年度についても、同じ単価で徴収を行う予定をしており、今のところ幼稚園給食については、

有償化で進めている。

問 幼稚園給食が始まるのと、幼児が食べ物を喉に詰まらせて重大な事故につながるのと報道等で見受けられるが、緊急時に対応できるような体制も整えていく必要があると思うが、この点について問う。

(給食センター所長)

答 次年度の給食開始に向けた準備として幼稚園教諭との意見交換を行っており、その中で、重大な事故になった場合、AEDの設置が必要との要望があがっている。この点については、令和6年度の予算で予算化していきたいと考えている。



幼稚園親子給食試食会



清 平二 議員

たばこ税の活用方法について

問

たばこ税は、町民の健康寿命等に還元できない税金として予算化できないか問う。また、令和4年度の各種健診の個人負担金は240万8千円であるが、これを無料化にして受診率向上に繋がらないか問う。

(総務課長)

答

たばこ税は、製造たばこの製造者、卸売業者などの販売業者等が町内の小売販売業者に売り渡したたばこに対してかかる税金であり、他の町税と同様に一般財源として入り、全体の予算として組み込まれている。また、各種検診の無料化については、自動・共

助・公助のバランスを考える必要があるので全て賄える財源ではないと考えている。

要望

愛煙家の皆様に、たばこは是非町内で購入し、たばこ税の増加に繋がられるよう協力をお願いしたい。また、検診における肺がんCTについては、今年度より4,000円を町が補助し個人負担金が4,200円となったが、来年度以降も続けられるようお願いしたい。

問

最近では、若い女性のがんの発症が多いように見受けられるが、クーポン券等を発行し受診勧奨できないか問う。



(健康増進課長)

国の事業を活用して、国の指定された年齢、21歳になる年の方に無料で検診していただけるように実施している。

答

国の事業を活用して、国の指定された年齢、21歳になる年の方に無料で検診していただけるように実施している。

要望

国の事業だけでなく、町単独事業として女性がん検診の勧奨に努めていただきたい。

問

子牛価格の低迷、さらに肥料や飼料の高騰による畜産農家とさとうきび農家の現状について問う。また、畜産農家経営維持支援金交付金3,786万円がコロナ交付金で予算化されているが、町単独での支援もできないか問う。

(経済課長)

答

現在、肥料・飼料の高騰及び競り価格の低迷等により、農家については大変厳しい状況であることを認識している。そのような中で、各種事業の活用や交付金を活用し、支援に努めているところである。町

単独での支援については、額の限りもあるので、バランスを考えて取り組んで行きたいと考えている。

問

子牛価格の低迷による、畜産基盤整備事業の個人負担分1千万円は、畜産農家の救済として、500万円程の無償貸付等の

計画はあるのか問う。

(経済課長)

答

事業を採択される際には、農家の方から申請を行って補助金を獲得していくので、自己負担分に更に一般財源を用いて補助をするというのは、難しいと考えている。





井上 和代 議員

徳之島なくさみ館を中心とした地域活性化について

問

徳之島なくさみ館を中心とした観光発信拠点としての利用はどのように考えているのか問う。

答

(町長)

伝統文化の情報発信拠点という形で、闘牛大会や鳥唄等を中心としたイベントなどあらゆるものが可能な施設である。世界自然遺産実現を祝う「宝ランド祭り」では、島内外から多くの方が集まり、島の子ども達が主体となり創作ダンス「命の未来へ」をたくましく表現し、世界自然遺産登録記念祝賀会を開催した例などがある。以前集落

でバザーや今夏には、東西目手久青年団の方々が夏祭りも開催し、大盛況であった。闘牛大会は、年間20回ほどとなっているので、新型コロナウイルスが落ち着き、これから徳之島なくさみ館をもっと発信するために集落の方だけでなく、あらゆる英知を集めて町民が一体となって、この徳之島地域文化情報発信施設徳之島なくさみ館をその名のとおり活かせるように、今まで以上に努力していく。

(きゅらまち観光課長)

令和4年度よりきゅらまち観光課の分室が、なくさみ館隣の旧休憩所に移り、島内・町内の観光マップ、世界自然遺産関係、物産関係の情報誌を配置し、訪れる観光客へ情報提供、案内を行っている。なくさみ館は現在、闘牛に関連したイベントでの使用が主で、闘牛大会や旅行会社の企画する闘牛との触れ合い体験ツアーの場となっている。訪れる観光客へ実際に闘牛と

出会えるよう、闘牛が見られる時間帯にツアーを設定していくなど観光客の満足度を高めていきたいと考えている。

問

闘牛大会が開催されていない時期の活用方法はどのように考えているのか問う。

答

(きゅらまち観光課長)

闘牛大会がない時期は、闘牛の稽古場として使用され、ツアー体験の場やなくさみ館内資料展示室見学などが主である。管理課としては、地域文化情報発信の施設であるため、闘牛以外でのイベントの利用、ライブ会場、演劇、映画などの鑑賞会にもぜひ活用していただけるように努めていく。

要旨

情報発信地の意味合いをもたせた形で、観光地として整備し、お土産店や飲食店のテナントや観光交流の場として人が集まるようなスペースを提供して



徳之島なくさみ館

ほしい。

令和5年第3回伊仙町議会定例会において

令和4年度伊仙町一般会計他5特別会計歳入歳出決算審査特別委員会について

（一部抜粋※委員長報告につきましては、町ホームページ「各種委員会」をご確認ください。）

去る、令和5年9月5日に当特別委員会に付託されました令和4年度伊仙町一般会計他5特別会計歳入歳出決算は、9月7日から9月11日までの3日間、議長並びに議会選出監査委員を除く12名の委員で審査いたしました。

まず、9月7日に行われた現地調査について、委員並びに議長・議選監査委員を含む14名で、令和4年度決算に係る主な箇所について、町長をはじめ担当課長並びに担当職員から詳細な説明を受け現地調査を行いましたので、主な項目について報告いたします。

調査場所は、完成間近となっている役場新庁舎、令和4年度より設立されたとくのしま伊仙まちづくり協同組合、喜念生活館、東西公民館、阿三カシナトウ団地、町道阿三木之香線、生活改善センターまでの全8か所の調査を行いましたので主な事項についてご報告と要望をいたします。

○新庁舎建築工事については、3度の工期延長を経てようやく9月11日に1期工事が完成を迎える状況であった。近代的なデザインで、本町のシンボルとして相応しい建物であったが、各課の配置など誰もが分かりやすい心配りや、新庁舎での業務が開始される際には、全職員が最大のおもてなしで町民の皆さまを迎えられるよう公務に努めていただくよう要望した。



役場新庁舎

○国の事業を活用し移住者に対して年間を通じ、地域全体の仕事を組み合わせることで安定的な雇用環境の創出と一定した給与水準の確保を目的として設立された、とくのしま伊仙まちづくり協同組合は現在までに6名の雇用がされているとのことであり、今後の更なる雇用拡大に期待し、町としても連携して定住促進に取り組まれるよう要望した。



とくのしま伊仙まちづくり協同組合

令和5年第3回伊仙町議会定例会において



町道阿三木之香線

○町道阿三木之香線、鹿浦港周辺道路には、長期間にわたり町道沿いへ船揚げされたままの漁船が散見されている状態であり、通行者にとっては非常に見通しが悪く、強い危険性が感じられた。また当該町道は、台風時に鹿浦大橋が通行止めとなった場合の回路としても機能されることから、担当課においては所有者への確認を取り、早急に撤去していただくとともに、今後同様な事案が起きないように漁港側の空き地スペースを整備し船揚げ場の確保に努めていただくよう要望した。

○生活改善センターの令和4年度利用実績として、年間104回、合計223名の方々が利用されており、ジェンバークーゼンや味噌づくり、コロケ、万能ダレなど島の食材を使った様々な加工品が作られているとのことで、加工機材も充実した物が揃っている状況であった。今後新たな利用者が増えることも想定されることから、機械の使用方法などが分かりやすく、また休日等も利用できる利用しやすい施設を目指すとともに、徹底した衛生管理に努めるよう要望した。



生活改善センター

○防災関連施設整備事業において整備された、喜念生活館、東西公民館は、台風・災害時などの避難所としてそれぞれ外壁の防水塗装、空調設備、水回りの改修、発電機設置が行われ、避難所として整備されている状況であった。一方で西公民館については、平成26年度より併設された保育園事業者との指定管理契約が交わされ、現在に至っているが、公民館内に保育園事務室が移動され、以前まで行われていたゲートボールも現在は行えていない状況となっており、集落住民から不便を感じるとの声も上がっている。担当課においては、地域住民の利便性を最優先に指定管理事業者との早急な協議を図り、集落住民が気軽に集い、利用できるよう努めることを要望した。



喜念生活館



西公民館



東公民館

ありがとう伊仙町議会議事堂！！

9月定例会の閉会後に、議事堂閉場式が執り行われました。

～前議長より閉場によせて～

伊仙町議会議事堂の閉場式にあたり、議会を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。戦後の復興の息吹が感じられる昭和38年にこの議事堂は落成され、今日まで、長い歲月伊仙町とともに歩んでまいりましたが、本日、令和5年第3回伊仙町議会定例会最終本会議をもちまして、60年間という長い歴史に幕を閉じることとなりました。昭和から平成、そして令和という時代の歴史の中で、多くの先人の方たちが、様々な試練に直面しながらも伊仙町の発展と町民の福祉向上のために、不断の努力と熱意を傾けこの議事堂において議論を尽くしてきました。その歴史のすべてを見守ってきたことを思うと我々議員一同の議事堂への思いもひとしおでございます。

本町の発展とともにあったこの議事堂と、この議場に関わったすべての皆様にねぎらいと感謝の意を表しますとともに、新たな議事堂においても、伊仙町議会が本町のさらなる飛躍に貢献することをお誓い申し上げ、私のご挨拶いたします。

令和5年9月14日

伊仙町議会議長 前 徹志



9月定例会最終本会議のようす



令和5年度 伊仙町議会県外視察研修を実施しました

10月27日(金) 和歌山県太地町
 (株)那智黒総本舗

～徳之島産黒糖を活用した商品開発の
 取組みについて～

今回私たちは、那智黒あめや黒糖かりんとう、黒糖ようかんなどの銘菓を製造販売されている株式会社那智黒総本舗に伺いました。この有名な和歌山那智黒あめ等の原料のほとんどは、伊仙町で作られた黒糖であります。意見交換の中で現社長の坂野氏より、この黒飴の味の決め手となる黒糖が重要であり伊仙町産の黒糖は非常に品質が高ことから50年以上も取引を行っているという話を聞くことができました。その後、同社敷地内にあります黒あめ製造工場へ移動し、あめが出来るまでの作業風景を見学をさせていただきました。



意見交換会のようす



7代目 坂野社長(右)

10/28(土)・10/29(日)に開催されました関西徳洲会懇親会及び大運動会のようす



来賓代表祝辞 前議長



関西徳洲会会長 中野壽郎氏



六 調



入場行進前



餅もらい歌披露



一般綱引き 優勝

議会の動き

令和5年第3回伊仙町議会定例会における諸般の報告（議長の動静）

動静期間：令和5年第2回定例会（6月8日）以降の分

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
6月	11日	かこしま国体アモストレーションスポーツ競技ミニバレーボール大会	総合体育館	7月	24日	令和5年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会	徳之島町
	20日	令和5年度第1回徳之島地域公共交通活性化協議会	ほーらい館		25日	夏植出発式	役場庁舎前
	27日	徳之島地区防犯組合連絡協議会監査	徳之島警察署		26日	奄美群島さとうきび価格対策協議会総会	奄美市
	27日	阿三カシナトウ団地新築工事安全祈願祭	阿三地区	8月	1日	ガバメントクラウドファンディングプレリリース	町長室
7月	1日	奄美群島日本復帰70周年第35回ふるさとを興す大島地区地域女性連学習大会	ほーらい館		17日	令和5年度市町村政研修会	鹿児島市
	2日	徳之島町役場新庁舎落成記念式典及び祝賀会	徳之島町		18日	令和5年度鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会	鹿児島市
	3日	大島支庁長との意見交換会	委員会室		22日	面縄港施設整備に係る中央要望活動	東京
	4日	正副議長研修会	鹿児島市		26日	いせん寺子屋 井村雅代氏特別講演	ほーらい館
	8日	あまみ農業協同組合窪田組合長就任祝い	徳之島町		29日	令和5年度子ども議会	議事堂
	21日	徳之島三カ力町議会議員連絡協議会第1回役員会	徳之島町	9月	1日	議会運営委員会	委員会室
	21日	議会全員協議会	委員会室		4日	議会全員協議会	委員会室
	21日	令和5年伊仙町商工スタンプ会通常総会	ほーらい館	以下余白			

議会を傍聴してみませんか

議会の定例会は、年4回（通常3月、6月、9月、12月）開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

ネット配信も行っておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入口の受付表に、住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

電話番号 86-3150 (直通)

なお、第4回定例会におきましても、「YOU TUBE LIVE」でのライブ中継や録画映像をご覧いただけますので、是非そちらもご活用ください。



編集後記

今年も残すところ、わずかとなくなりました。

本年は、日本復帰70周年という記念すべき年でもありました。11月11日に、奄美12市町村の実行委員会主催で、奄美群島日本復帰70周年記念式典が奄美文化センターで、群島内外から出身者や関係者が集い盛大に開催されました。

高校生の司会で始まり、日本復帰の歌を斉唱し、来賓祝辞の後、子どもたちによる「語り継ぐこと」の大切さを未来へのメッセージとして発表しました。続いて各島々に残る民謡を若い唄者が披露、目手久出身の内美千代さんによる「ワイド島」では、手踊り、そして盛大な拍手や指笛が飛び交い最高の盛り上がり様でありました。さらに、奄美出身のアーティストによる「懐かしい未来へ」で心を和ませてくれました。

最後は、全員で六調を踊り、復帰70周年の節目に「語り継ぐこと」の大切さを実感しながら、万歳三唱で式典を閉会しました。

この歴史を刻んだ復帰の父と慕われた、泉芳朗先生は、私達伊仙町の誇れる英雄です。

「得取らんゆか名とれ」という言葉があります。引き続き、議会のチェック機能と、監視の責務をしっかりと果たせる議会として努力してまいります。

今後とも町民の皆さまの、叱咤激励とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

(文責 美島 盛秀)

議会広報編集委員会

発行責任者 議長 前 徹志

委員長 杉山 和英

副委員長 美島 盛秀

委員 牧本 久保

委員 永田 量

